



2018（平成30）年2月16日

各 位

会 社 名 J X T Gホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 内田 幸雄
コード番号 5020 東証・名証第1部
問合せ先 財務IR部 IRグループマネージャー
日暮 達也
(電話番号 03-6257-7075)

**当社子会社によるロス・ペランブレス鉱山権益の追加取得および
コジャワシ鉱山権益の譲渡について**

当社子会社のJX金属株式会社（社長：大井 滋）が15%を有するチリ共和国のロス・ペランブレス鉱山の権益について、三井物産株式会社（以下「三井物産」）から0.79%分を追加取得するとともに、当社が保有するチリ共和国のコジャワシ鉱山の全権益である3.6%分について、三井物産に譲渡することに合意いたしました。

当社は2017年度～2019年度中期経営計画の基本方針の一つとして「基幹事業の収益力強化」を掲げておりますが、その一環として、製錬事業とのシナジーや経営管理強化の観点から、資源開発事業のポートフォリオを見直し、当社にとってより重要なアセットに投資を集中させることとしたものであります。

また、今般の権益の交換取引により生じる資金は、金属下流事業への投資に充当する予定です。

なお、2018年3月期通期連結業績予想値に与える影響額につきましては現在精査中であり、予想値を修正する必要が生じましたら速やかに開示いたします。

以 上

「添付資料」

ロス・ペランブレス鉱山権益の追加取得およびコジャワシ鉱山権益の譲渡について

2018年2月16日

各位

JX金属株式会社

ロス・ペランブレス鉱山権益の追加取得およびコジャワシ鉱山権益の譲渡について

JX金属株式会社（社長：大井滋、以下「当社」）は、当社が15%を有するチリ共和国のロス・ペランブレス鉱山の権益について、三井物産株式会社（以下「三井物産」）から0.79%分を追加取得するとともに、当社が保有するチリ共和国のコジャワシ鉱山の全権益である3.6%分について、三井物産に譲渡することに合意いたしました。

当社は2017年度－2019年度中期経営計画の基本方針の一つとして「基幹事業の収益力強化」を掲げておりますが、その一環として、製錬事業とのシナジーや経営管理強化の観点から、資源開発事業のポートフォリオを見直し、当社にとってより重要なアセットに投資を集中させることとしたものであります。

1997年に権益を取得したロス・ペランブレス鉱山は、鉱床規模・品位共に世界でも第一級の鉱山であり、同鉱山の銅精鉱は、砒素などの不純物が少なく銅品位が高いため、当社子会社であるパンパシフィック・銅工業株式会社傘下の各製錬所にとって重要な原料調達先となっております。また、当社は日本側出資者のうち最大の出資比率を有しており、当社社員の派遣や操業・経営への関与を通じて、最大出資者であるアントファガスタ社とも密接な関係を構築しております。これらを踏まえ、今般、当社の出資比率が低く経営への関与の程度が相対的に低いコジャワシ鉱山の権益を、同鉱山における日本側出資者で最大の出資比率を有する三井物産に譲渡し、代わりにロス・ペランブレス鉱山の権益を同社から取得することといたしました。

なお、今般の権益の交換取引により生じる資金は、当社下流事業への投資に充当する予定です。

以上

参考)

ロス・ペランブレス鉱山の概要

所在地	チリ共和国第 IV 州
生産開始	2000 年 1 月
埋蔵鉱量 (2016 年 12 月末)	約 61 億トン (銅品位 0.51%)
銅生産量	約 40 万トン/年
当社権益比率 (取引後)	15.79%

コジャワシ鉱山の概要

所在地	チリ共和国第 I 州
生産開始	1999 年 1 月
埋蔵鉱量 (2016 年 12 月末)	約 100 億トン (銅品位 0.78%)
銅生産量	約 50 万トン/年
当社権益比率 (取引後)	0%